

外務大臣 岸田文雄 様

米軍機事故に関する対応等について（要請）

12月13日夜間、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが沖縄県名護市東海岸から約1km沖合いに不時着したとの報に接しました。

これまでもオスプレイは開発段階に4回墜落し、平成24（2012）年4月にはモロッコで4人が死傷する墜落事故を起こしており、安全性に問題があるものと考えられ、また、騒音についても飛行時の低周波が一部で基準値を超えているとの指摘もあります。

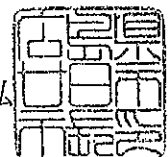
今年9月には米海兵隊岩国基地所属のAV8Bハリアーの墜落、10月にはF35Bの火災事故、今月のFA18ホーネット墜落と重大事故の発生が続いております。

本市へは米軍機の低空飛行やオスプレイが飛行しているとの目撃情報が多く寄せられており、最新鋭ステルス戦闘機のF35Bについても岩国基地へ配備するとの報もある上、来年には岩国基地への空母艦載機の移転も計画されており、度重なる米軍機の事故について住民の不安は増す一方です。

先の事故について、早期の原因究明と速やかな情報の公開を米側に求めるとともに、地元自治体の声を真摯に受け止め、米軍機の飛行による地元住民の不安の増大や、生活環境を悪化させることのないよう強く要請します。

平成28年12月15日

廿日市市長 眞野勝弘



防 衛 大 臣    稲 田   朋 美    様

米軍機事故に関する対応等について（要請）

12月13日夜間、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが沖縄県名護市東海岸から約1km 沖合いに不時着したとの報に接しました。

これまでもオスプレイは開発段階に4回墜落し、平成24（2012）年4月にはモロッコで4人が死傷する墜落事故を起こしており、安全性に問題があるものと考えられ、また、騒音についても飛行時の低周波が一部で基準値を超えているとの指摘もあります。

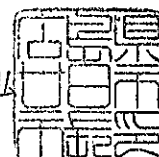
今年9月には米海兵隊岩国基地所属のAV8Bハリアーの墜落、10月にはF35Bの火災事故、今月のFA18ホーネット墜落と重大事故の発生が続いております。

本市へは米軍機の低空飛行やオスプレイが飛行しているとの目撃情報が多く寄せられており、最新鋭ステルス戦闘機のF35Bについても岩国基地へ配備するとの報もある上、来年には岩国基地への空母艦載機の移転も計画されており、度重なる米軍機の事故について住民の不安は増す一方です。

先の事故について、早期の原因究明と速やかな情報の公開を米側に求めるとともに、地元自治体の声を真摯に受け止め、米軍機の飛行による地元住民の不安の増大や、生活環境を悪化させることのないよう強く要請します。

平成28年12月15日

廿日市市長    眞 野   勝 弘



アメリカ合衆国駐日本国特命全権大使 キャロライン・ケネディ 閣下

米軍機事故に関する対応等について（要請）

12月13日夜間、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが沖縄県名護市東海岸から約1km 沖合いに不時着したとの報に接しました。

これまでもオスプレイは開発段階に4回墜落し、平成24（2012）年4月にはモロッコで4人が死傷する墜落事故を起こしており、安全性に問題があるものと考えられ、また、騒音についても飛行時の低周波が一部で基準値を超えているとの指摘もあります。

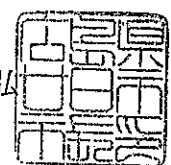
今年9月には米海兵隊岩国基地所属のAV8Bハリアーの墜落、10月にはF35Bの火災事故、今月のFA18ホーネット墜落と重大事故の発生が続いております。

本市へは米軍機の低空飛行やオスプレイが飛行しているとの目撃情報が多く寄せられており、最新鋭ステルス戦闘機のF35Bについても岩国基地へ配備するとの報もある上、来年には岩国基地への空母艦載機の移転も計画されており、度重なる米軍機の事故について住民の不安は増す一方です。

つきましては、地元自治体の声を真摯に受け止め、米軍機の飛行による地元住民の不安の増大や、生活環境を悪化させることのないよう強く要請します。

平成28年12月15日

廿日市市長 眞 野 勝 弘



米海兵隊岩国航空基地司令官 リチャード・F・ファースト大佐 様

米軍機事故に関する対応等について（要請）

12月13日夜間、米海兵隊普天間基地所属の垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが沖縄県名護市東海岸から約1km 沖合いに不時着したとの報に接しました。

これまでもオスプレイは開発段階に4回墜落し、平成24（2012）年4月にはモロッコで4人が死傷する墜落事故を起こしており、安全性に問題があるものと考えられ、また、騒音についても飛行時の低周波が一部で基準値を超えているとの指摘もあります。

今年9月には米海兵隊岩国基地所属のAV8Bハリアーの墜落、10月にはF35Bの火災事故、今月のFA18ホーネット墜落と重大事故の発生が続いております。

本市へは米軍機の低空飛行やオスプレイが飛行しているとの目撃情報が多く寄せられており、最新鋭ステルス戦闘機のF35Bについても岩国基地へ配備するとの報もある上、来年には岩国基地への空母艦載機の移転も計画されており、度重なる米軍機の事故について住民の不安は増す一方です。

つきましては、地元自治体の声を真摯に受け止め、米軍機の飛行による地元住民の不安の増大や、生活環境を悪化させることのないよう強く要請します。

平成28年12月15日

廿日市市長 眞 野 勝 弘

